南口西街区の今

1　三島市は、三島駅南口西街区東急ホテル売却地の残りの部分に、オリンピック観光客を当て込んだ4億円規模の立体駐輪場（収容台数千台ほど）の建設をするとして、予算を6月議会に上程した。駐輪場が狭くなることは売却時からわかっていたこと。その代替えをどうするかは当初予算に計上すべきだ。補正予算での計上はおかしい。普通に考えて駐輪場に4億円ものお金をつぎ込む事は考えられない。

2　まだ新しく三島のシンボルでもあった観光案内所は取り壊し移転。駅側にJR東海関連会社から10年契約、月12万で借り受けた。旧施設の4分の1ほどの面積約20平米、間口約5m。常駐職員2名。お客さんは2人も入ればいっぱい。大がかりな駐輪場に比べてこの案内所はお粗末だ。観光都市を目指す三島市としては恥ずかしい。

3　駐輪場から駅への専用通路は6月5日閉鎖。利用者は南側の公道を利用するしかなくなった。利用者からは不便だという声を聞く。近隣住民への説明もない。住民・利用者不在の行政の表れだ。

4　道路側に面した市有外の高層ビルの取り壊しが始まる。東急の土地売却とどのような関連があるのか。近隣住民への説明が不十分だ。

〈O〉

特集

新たな地域交流を生む「おたまちゃん食堂」

押田智子（オンタチカコ）

こんにちは！「みんなのえがお　おたまちゃん食堂」代表の押田です。最近では少しずつ皆様の耳にも入り始めた（こども食堂）ですがまだまだ現実離れしていると思っている方もいらっしゃるかと思います。「この時代に貧困？」私も初めは信じられませんでしたが現実に直面しメディアの中だけでは無いことが解りました。今の時代に親だけでこどもを育てる責務を負う中で生じる孤立や疲弊も、地域の人とつながりながら子育てを行うという仕組みや場をつくることにより心理的な負担が和らぎ、子どもの状態が改善するケースがあります。

困窮家庭やひとり親家庭に、安く・おいしく・楽しく食事ができる機会を届けることはもちろん、共働き家庭で孤食になりがちな子どもや家庭に居づらさを感じている子どもなど、必要としている人が気軽に訪れることができる場をつくることで、更なる孤立化や事態の深刻化の予防、地域の中での居場所づくりに寄与できると考え「みんなのえがお　おたまちゃん食堂」の設立を検討するに至りました。

対象者をこどもと限定せずに集える場とすることでこどもが親以外に頼れる大人と出会える場、多様な価値観に触れることができる場になるなど大人を通して社会とつながる場にもなる可能性もあるのではないかと思われます。

今の時代の食生活の乱れを少しでも改善できる場として「みんなのえがお　おたまちゃん食堂」を開いてお待ちしております。

民間のオバチャンだけで開いている食堂です。まだまだ皆様からの御支援が必要でございます。「あの子の為に、この先の未来のために」御協力宜しくお願いいたします。

連絡先　090-6613-6130（押田）

★日程はお電話かFacebookにて御確認ください。

花火のもう一つの側面

夏の風物詩でもある花火は重金属やダイオキシン、過塩素酸塩などの危険な汚染物質を放出する。人々はより大きくより色とりどりの花火を期待するため、使用火薬や色化剤の量や種類は増え音は大きくなっている。硝酸バリウムは呼吸器系に被害をもたらす可能性があるし、過塩素酸カリウムは子どもの甲状腺の問題や障害と関連づけられている。打ち上がった後の花火は回収されず、有害物質の水や表土への拡散をもたらす。

大気汚染防止法は工場などには適用されるが花火大会には適用されない。さらに花火の音は動物に莫大なストレスを与え、死に至るものも多い。鳥は花火に対する恐怖によって方向感覚を失い、壁や鉄塔に激突することがある。騒音に苦しむ人もいる。この大気汚染、騒音、観客の出すゴミや交通渋滞等で、花火大会を見直す動きも出ている。

花火は奇麗なだけでない。こんな側面も知った上で楽しんでほしい。

〈J〉

ひろばおすすめshop　ストランズ

三島大通り商店街Via701東部の特産品で今一押しは「月ヶ瀬の梅シロップ」。氷の中に入れて解けるのを待って飲んだ時の幸せ！　地元の果物で作った無添加ジャムはお子様にも安心して食べていただける本物の味。

本わさびや各種漬物、障害者作業所イルカさんの丁寧に作られたクッキーやおもしろ味のお菓子も沢山あり、遠方の友人に詰め合わせを送っても喜んでもらえます。

〈T〉

三島市本町9-3
シャリエ三島本町プレミアム1階
電話　055-943-7698
定休日　日曜日
営業時間　9時半～17時

薬効のある身近な植物　ツワブキ

ツワブキは暖地の浜辺や山地などに自生する丈夫な多年草で、庭先にも生える。フキと同様食用もでき、春に葉の開く前の伸びた葉を火であぶって柔らかく揉み患部に貼る。タンニンを多く含み、炎症をやわらげ傷の回復を促す。抗菌作用もあり腫れ物の膿を吸い出す効果もある。【虫刺され、歯痛、しもやけ】生葉を揉んで貼るとよく効く。【切れ痔・裂け痔・軽いいぼ痔】生葉10gを200ccの水で半量になるまで煎し、患部をたびたび洗う。また煮などにする。炒めたツワブキをご飯に混ぜるのも美味しい。今からだと食用には向かないが、虫刺されなど効用が多いので紹介する。

【おでき、湿疹、切り傷、火傷、打撲、肩こり】生葉を火であぶって柔らかく揉み患部に貼る。タンニンを多く含み、炎症をやわらげ傷の回復を促す。抗菌作用もあり腫れ物の膿を吸い出す効果もある。【虫刺され、歯痛、しもやけ】生葉を揉んで貼るとよく効く。【切れ痔・裂け痔・軽いいぼ痔】生葉10gを200ccの水で半量になるまで煎し、患部をたびたび洗う。また煮、あえもの、天ぷら、粕漬け、塩漬け、カレーは、生葉の煎じ汁で坐浴。民間薬として根を利用する場合は、夏～秋に根茎を取り刻んで日干し。また7～9月に生育した葉柄を採取して洗い天日乾燥。乾燥したものは「たく吾葉」という。のどの腫れ痛み、健胃、下痢、食あたりには、一日3～5gの根茎を600ccの水に入れ、30分ほど煎じて3回に分けて服用する。生の青汁を飲んでも効果がある。昔はフグなどの魚中毒にも使用された。【ツワブキ茶】夏、葉柄を摘み、洗って干して刻む。薬缶で煮出すまたは熱湯を注いで飲む。

〈J〉

本棚便り（12）

間宮　緑

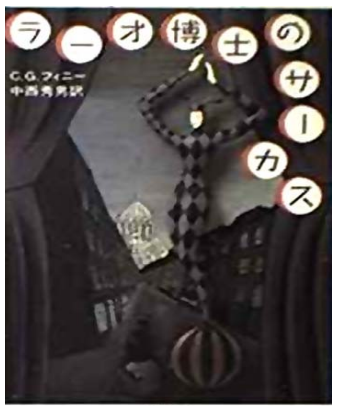
『ラーオ博士のサーカス』

C.G.フィニー　著
中西秀男　訳
ちくま文庫

小説について私たちはよく「物語が面白い」とか「人物がよく描けている」などと言ったりする。物語や描写というものは、小説一般に共通の要素で、それによって作品の良し悪しが測れる、と現代の私たちは思いがちだ。

ラヴェル作曲『亡き王女のためのパヴァーヌ』の旋律は、半ば優しく、半ば切なく感じられる。それはこの曲が、長短調の区別が設けられる以前の古い旋法が用いられているためだという。その不思議な旋律には、近代以降の価値観では測れない美しさがある。

本書『ラーオ博士のサーカス』には、いわゆる起承転結をそなえた物語はない。どうやら中国からやって来たらしい謎の男・ラーオ博士が率いる奇妙なサーカス（見世物小屋）に、町の人々が見物に訪れる。ただそれだけのお話なのである。主人公というものも特にない。



たださまざまな人物と程よく山場が設定された物語、幾重にも張られた伏線を回収して迎える大団円こそ小説の醍醐味だと考えているのなら、本書は全く薦められない。しかし、あなたが単なる大の小説好きであれば、本書はきっと現代の言葉では測れない小説のスペクタクルを見せてくれるに違いない。

三島市の住民たちだ。彼らが一体何者なのか、本篇では多くは語られない。しかし、それを知ることはできる。この本の巻末には「カタログ」が付いており、一人一人について解説がなされているからだ。

もしあなたが大の小説好きで、奥行きのある登場人士のテントには、様々な神々や怪物が神話の世界から現れる。禍々しくもあり美しくもある彼らと対をなすのが、これもまた個性豊かな観客たち＝町

近隣の自治体情報

共謀罪についての意見書提出状況

三島市　6月8日
陳情提出予定

清水町　5月23日
請願提出
紹介議員　森野議員　吉川議員
6月12日総務委員会
傍聴席6席

伊豆の国市　5月31日
請願提出
紹介議員　田中議員　高橋議員
6月28日本会議討論採決

伊豆市　複数議員からの意見書提出発議
6月8日本会議討論採決

富士宮市　6月7日
請願提出
紹介議員　若林議員　渡辺議員

裾野市　6月5日　陳情提出

函南町　6月6日　陳情提出

医療法人　社団静岡健生会　＊24時間 地域の医療を守り、在宅医療を支援します＊

三島共立病院

診療科目　内科・循環器科・消化器科・呼吸器科・小児科
外科・整形外科・皮膚科・放射線科・リハビリ科

	月	火	水	木	金	土
午前	○	○	○	○	○	○
午後	○					
夜間	○			○	○	

外来受付時間
※整形・小児・皮膚科は18:30まで
午前診療　8:30～11:30
午後診療　13:30～15:00
夜間診療　16:00～19:30

〔住　所〕三島市八反畑120-7
〔病院代表〕TEL 055-973-0882　〔在宅診療部〕TEL 055-981-4781

慈眼堂
赤ひげのはりときゅう
腰などの“いたみ”どり
初回無料
～～～～～～～～～～～～
ガン・認知症を防ぎたい方
ころばぬ先の杖
相談に応じます
【治療時間】9:00 ～ 18:00
【休日】木・日
【住所】三島市谷田173－13－101
【TEL・FAX】055－9765－8765

ピアノ　海瀬京子
歌　オクサーナ　ステパニュック
愛と平和をかなでる・夢の
ジョイントコンサート
2017.6.25（日）
場　所　三島市文化会館 大ホール
チケット　大人　3000円
中高生 1000円 小学生 500円
連絡先 090-3533-3326 柴原俊介

第一回労働学校のご案内
「労働者階級とは何か」
“今こそマルクス：「共産党宣言」に学ぼう”
7月9日（日）午後1時～4時
ところ：三島市総合防災センター（市役所大社町別館）
講　師：神沢充さん
資料代：３００円
主　催：ユニオンしずおか・東部支部
連絡先：080-1614-2767（山口）